



カメラと写真映像の ワールドプレミアショー シーピープラス 2016 開催のお知らせ

一般社団法人カメラ映像機器工業会(CIPA)[代表理事会長:笹 宏行 所在地:東京都港区芝浦3-8-10 MA 芝浦ビル]は、2016年2月25日(木)~28日(日)に総合的カメラ映像ショー、CP+(シーピープラス)2016をパシフィック横浜および大さん橋ホールにて開催いたします。

本イベントは国際都市・横浜に開催地を移して7年目、“日本カメラショー”時代から数えて50年を越える歴史を持ち、世界をリードする総合的カメラ映像ショーとなりました。ビジネスユーザーはもとより家族連れ、女性客も増加し、CP+2015では約67,000人を動員、39機種のワールドプレミア(世界初発表製品)がここ日本から世界に向けて発表されました。

世界のデジタルカメラ販売台数における日本メーカーのシェアは約87%、レンズ交換タイプのデジタルカメラにおいては約96%となり、日本は世界の写真映像ビジネスを牽引しています。今回は新会場として大さん橋ホールを増設しパワーアップ、CP+は今回も写真の“撮る、見る、つながる”楽しさを体感できる製品展示や写真展示、各種イベントを通じて、フォトイメージングの世界がもたらす楽しみと感動に焦点をあて、みなさまにご案内します。

CP+2016 主な5つのトピックス

■ フォトアワード創設！日仏写真文化交流 特別企画！ ZOOMS 合同写真展

日本を代表するカメラ・写真専門誌の編集者が審査するフォトアワードThe Editors' Photo Award ZOOMS JAPAN(通称ズームズ・ジャパン)、初の受賞者作品とフランスの提携イベント”Salon de la PHOTO”によるアワード“Les ZOOMS”(レ・ズーム)の合同展示を初開催。日仏受賞作家と編集者によるギャラリートークも実施予定です。

■ 新会場増設！写真作品を“創る”楽しみを発信！PHOTO HARBOUR(フォト・ハーバー)

従来のパシフィック横浜に加え大さん橋ホールもCP+会場として追加！写真作品を創り、展示する楽しみをより広く発信し共有するギャラリー&コミュニティスペース「PHOTO HARBOUR」を実施します。両会場を結ぶシャトルバスも運行します。

■ 来場者の方々の投票で決まる！CP+2016 ワールドプレミアアワード初開催

毎年CP+から多くのワールドプレミア製品が発表され世界に発信されます。今回から来場者参加企画として、会場で来場者それぞれがお気に入りの製品に投票いただき、最終日に集計、もっとも人気の高かった製品を発表・表彰する「ワールドプレミアアワード」を実施します。

■ 金・土・日の3日間限定！クラシックカメラからデジタルカメラまで！中古カメラフェア初開催

例年好評のフォトアクセサリアウトレットに加え、全国の中古カメラ店が集結し展示即売する「中古カメラフェア」を初開催。今回のCP+では中古カメラならではの楽しみもご提供します。

■ 国立天文台 特別企画を中心とした天文写真特集！

国立天文台の全面協力により家正則名誉教授による特別講演「30m望遠鏡TMTで見る宇宙」や模型展示を主としたブースを展示ホールに展開いたします。写真の楽しみを伝える従来から人気のセミナー「エンジョイフォトステージ」でも天文写真をフィーチャーいたします。

■ イベント概要

名称: CP+(シーピープラス)2016

開催概要

開催日程: 2016年2月25日(木)~28日(日)

2月25日(木)	12:00~18:00 (※10:00~12:00 プレスタイム(展示ホールのみ))
2月26日(金)~27日(土)	10:00~18:00
2月28日(日)	10:00~17:00

※ プレスタイムはプレス関係者・特別招待者・プレスタイム招待券持参者のみの入場になります。

会場: パシフィコ横浜(展示ホール、アネックスホール、会議センター)
大さん橋ホール
(会場間シャトルバスを15分毎運行)

入場料: 1,500円(税込)(ウェブ事前登録で無料)
障害者手帳を持参の方、小学生以下の方は無料

主催: 一般社団法人 カメラ映像機器工業会(CIPA)

協賛: 一般社団法人 日本写真映像用品工業会

コーディネーター: 凸版印刷株式会社

後援: 経済産業省、観光庁、神奈川県、横浜市、横浜商工会議所、日本貿易振興機構(ジェトロ)

特別協力: 日本カメラ博物館/日本新聞博物館/横浜美術館

協力: 公益社団法人応用物理学会 フォトニクス分科会/カメラ記者クラブ/国立天文台/
写真映像経営者協会/全日本写真材料商組合連合会/
東京写真記者協会/日本営業写真機材協会/一般社団法人日本オプトメカトロニクス協会
一般社団法人日本カメラ財団/公益社団法人日本広告写真家協会/
公益社団法人日本写真家協会/一般社団法人日本写真学会/
協同組合日本写真館協会/公益社団法人日本写真協会/
一般社団法人日本写真文化協会/一般社団法人日本電子回路工業会/
日本フォトイメージング協会/一般社団法人日本望遠鏡工業会/パシフィコ横浜/
マグナム・フォト東京支社/公益財団法人横浜観光コンベンション・ビューロー/
横浜市写真師会(50音順)

主な出展分野

カメラ、レンズ、フォトアクセサリ、プリンター、画像処理ソフト、携帯機器、ディスプレイ、
プロジェクター、フォトフィニッシング、フォトブック、プリントペーパー、スタジオ用品・機材など

出展社数・来場者数 (2015年12月15日現在)

・出展社数:	133社・団体(共同出展16社含む)	前回131社・団体(共同出展19社を含む)
・出展小間数:	1,073小間	前回965小間
	(主催者ゾーン、メディアパートナー含む)	
・来場者数(目標):	70,000人(前回67,617人)	



The Editors'
Photo Award
ZOOMS JAPAN 2016

エディタース・フォト・アワード ズームズ・ジャパン 2016 受賞者決定！

CP+が新たに創設した日仏連動のフォトアワード“The Editors' Photo Award ZOOMS JAPAN 2016”。審査員であるカメラ・写真専門誌の編集長が選出した7名のノミネート作品から、プレゼンテーションによる最終選考で「エディター賞」、ウェブサイトでの一般投票で「パブリック賞」、それぞれの受賞者が決定いたしました。日仏の受賞作が横浜とパリで展示される企画です。本企画を軸としたさらなる日仏写真文化交流を、CP+とSalon de la Photoは継続的に行っていきます。

エディター賞 山本 雅紀「I'm home」



山本 雅紀 (ヤマモト マサキ)
1989年兵庫県生まれ
2012年日本写真映像専門学校卒業
'13年から14年までニュージーランドに1年間滞在
'14年から15年まで京都新聞社編集局写真部に
1年間所属
'15年 写真展「山本家」
(新宿ニコンサロンJuna21、大阪ニコンサロンJuna21)
同展示にて三木淳賞奨励賞を受賞

パブリック賞 恩田 大輔「絶景に魅せられる人」



恩田 大輔 (オンダ ダイスケ)
広島県廿日市市出身/26歳
大学時代に写真の魅力に惹かれ、日本各地の
絶景ポイントを巡りながら
写真を撮る旅を続けています。趣味は野球観
戦・ランニング・街巡り。

日仏写真文化交流 特別企画 ZOOMS 合同写真展

今回の受賞作品は、パリで毎年行われる写真映像イベント”Salon de la Photo(サロン・ドゥ・ラ・フォト)”主催、フランスの有力写真雑誌10誌の編集者達が選者に名を連ねる写真コンテスト“LES ZOOMS”(レ・ズーム)で選出されたグランプリ受賞者2人の受賞作品と一緒に展示されます。また展示会場では日仏の受賞者と審査員が作品について語り合うギャラリートークも予定しております。

新会場！

写真作品を“創る”楽しみを発信して共有する
ギャラリー & コミュニティスペース



PHOTO HARBOUR(フォト・ハーバー) 誕生
会場: 大さん橋ホール(CP+の入場証で入場できます)

パシフィコ⇄大棧橋
シャトルバス
15分毎運行!

ふたつの参加型展示企画が併催されます!



日本最大級の参加型写真イベント
御苗場 vol.18 横浜

“自分の未来に苗を植えよう!”という趣旨から命名された「御苗場」。過去出展者のなかにはギャラリー所属の作家としてのデビュー、海外での作品展示、また御苗場企画内“夢の先プロジェクト”より、写真集を出版した人など続々と夢を形にしている人が生まれています。出展には審査はありません。多種多様な展示作品との出会いを通じて、写真を撮ることや見ることの楽しみ、出展者の夢への挑戦をぜひ体感してください。

詳しくは御苗場オフィシャルサイトへ!

www.onaeba.com



フォトジン 展示・販売イベント
PHOTO! FUN! ZINE!

写真の本を、作ろう。作ったら、展示して、売ってみよう。PHOTO! FUN! ZINEは、写真とZINEを楽しむ人のお祭りです! 写真の本は、ラフなZINE(※)、本格的な写真集、フォトブックなど、写真の本ならOK! PHOTO! FUN! ZINE!は、写真の本を作って売って展示するイベントです。

※ZINE(ジン)・・・有志の人々が制作する、少数で非商業的(利益重視ではない)出版物のこと。リトルプレス、ミニコミ誌とも呼ばれています。

詳しくはPHOTO! FUN! ZINE! オフィシャルサイトへ!

www.pfzine.com

CP+2016 注目のイベント

来場者の方々の投票で決まる！ ワールドプレミアアワード

CP+で発表されるワールドプレミア製品の中から、来場者の投票でグランプリを決定するアワードを実施し、会期中最終日に発表、表彰します。ぜひ会場で投票ください。



金・土・日の3日間限定！お見逃しなく！

■ CP+ 中古カメラフェア ～クラシックカメラからデジタルカメラまで

プロデュース・運営：玄光社／CAMERA fan

中古カメラ&レンズの販売イベントを待望の初開催。往年のクラシックカメラから、人気のオールドレンズ、そして、最新のデジタルカメラまで。全国の中古カメラショップが一堂に集結して販売。ここでしか買えない掘り出し物を見つけてください。

参加店(50音順)：

愛好堂カメラ(愛知)／大塚商会(愛知)／荻窪カメラのさくらや(東京)／CAM-ALL タカナシカメラチェーン(新潟)／カメラ修理・販売 ユー・シー・エス(東京)／カメラのゴゴー商会(福岡)／カメラのヤマゲン(大阪)／カメラのロッキー(東京)／スズキカメラ商会(東京)／鈴木特殊カメラ(大阪)／ステレオカメラ(福岡)／スリースター商会(東京)／フォトベルゼ(東京)／藤井商店/フジカメラ(大阪)／ブレゲカメラ(東京)／レモン社/カメラのナニワ(東京・大阪)

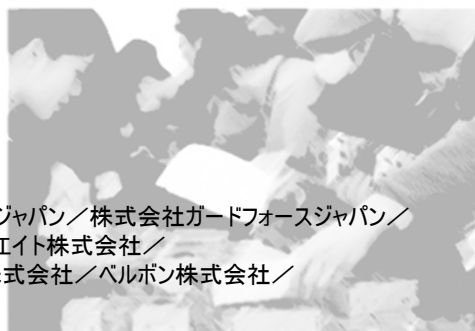


■ フォトアクセサリアウトレット

好評につき、金・土・日の3日間に拡大！CP+出展社の出店によるフォトアクセサリに特化したアウトレットを開催します。

出店社(50音順)：

アガイ商事株式会社／株式会社エツミ／株式会社オーロラライトバンクジャパン／株式会社ガードフォースジャパン／株式会社ケンコー・トキナー／株式会社サイトロンジャパン／ジャパンクリエイティブ株式会社／東洋リビング株式会社／常盤写真用品株式会社／ハクバ写真産業株式会社／ベルボン株式会社／マンフロット株式会社／リコーイメージング株式会社



2/26(金)～28(日) 10:00～17:00(最終日は～16:00) アネックスホール

CP+2016 注目のイベント

国立天文台 企画

特別講演 30m望遠鏡TMTで見る宇宙

2/28(日) 13:30~15:00 会議センター301/302

家 正則 (国立天文台名誉教授) **無料/事前登録制**

国立天文台はハワイ島マウナケア山頂に8mすばる望遠鏡に続き、口径30mの次世代超大型望遠鏡TMTの建設を国際協力科学事業として進めています。空気のゆらぎによる像のボケを実時間制御で解消する補償光学技術を搭載した究極のカメラTMTの構造と性能を紹介し、TMTが映し出す宇宙像から現代天文学が何を解明しようとしているのかについて、画像を用いてわかりやすくお話しします。

特別展示

展示ホール内



望遠鏡及びドームの
1/150スケール模型
©国立天文台

ゲストスピーチ 「写真集は文化だ！」

飯沢耕太郎 (写真評論家)

2/25(木) 11:00~12:00 会議センター 301/302

無料/事前登録制

日⇒英 同時通訳



撮影: ERIC

日本は1960年代以来独自の写真集文化を形成してきました。毎年刊行される写真集は、質、量ともに世界一といっても過言ではありません。写真集の魅力、そして文化としての写真集の今後と可能性についてお話しします。

★ 飯沢耕太郎 プロフィール

1954年、宮城県生まれ。日本大学芸術学部卒業後、筑波大学大学院芸術学研究所博士課程で日本写真史を専攻し、1984年に修了。以後フリーの写真評論家として活動する。『写真美術館へようこそ』(サントリー学芸賞受賞)、『日本現代写真アーカイブ』など著書多数。2014年2月、30年以上にわたって集めてきた内外の写真集5000冊を閲覧できる「写真集食堂めくたま」を東京・恵比寿にオープン。

フォト・ヨコハマ プレゼンツ アレック・ソス トークショー

アレック・ソス (フォトグラファー)

2/27(土) 11:00~12:30 会議センター 301/302

無料/事前登録制

英⇒日 同時通訳

マグナム・フォトの会員であり、早くからコンテンポラリーアートの世界でも活躍し、写真集も常に話題の、アレック・ソスが来日。自らも出版社を経営し、写真界に大きな影響を与える存在の彼が、トークショーやイベントを開催予定です。



★ アレック・ソス プロフィール

1969年ミネソタ州ミネアポリス生まれ。2004年にマグナムに参加、2008年より正会員。「オン・ザ・ロード」系アメリカ現代写真を継承し、早くからコンテンポラリーアートの世界で注目を浴びる。2013年、グッゲンハイム奨励金受賞。サンフランシスコ現代美術館、ヒューストン現代美術館、ミネソタ州ウォーカー・アートセンター等の美術館に作品が所蔵されている。また、ニューヨークのホイットニー・ビエンナーレ(2004)、パリのジュ・ドゥ・ポム(Paris, 2008)、ロンドンのメディア・スペース(2015)など、世界各地で数多くの展覧会を開催している。

写真集に「Sleeping by the Mississippi」(2004)、「Niagara」(2006)、「Fashion Magazine」(2007)、「Dog Days, Bogota」(2007)、「The Last Days of W」(2008)、「Broken Manual」(2010)、「Songbook」(2015)、「Gathering Leaves」(2015)などがある。2008年には、Little Brown Mushroom という出版社を自ら立ち上げ、優れた写真集を数多く出版している。

■ キーノートスピーチ 「4K/8Kが変えるカメラ・映像機器市場」

一般社団法人カメラ映像機器工業会(CIPA) 代表理事会長 笹 宏行

2/25(木) 13:30~14:30 会議センター 301/302 無料/事前登録制 日⇒英 日⇒中 同時通訳

4K/8Kテレビの普及は、解像度だけではなく、画質に対する感性を一変させる可能性を持っています。思い出を将来に伝えるカメラ・映像機器においては、この感性の変化を新たな機会と捉え、商品開発が進められています。CP+2016は、その最先端に触れていただける場になると確信しております。

■ 上級エンジニアによるパネルディスカッション 「次のカメラは」

2/25(木) 15:00~16:30 会議センター 301/302 無料/事前登録制 日⇒英 日⇒中 同時通訳

デジタルカメラは各社の技術革新により飛躍的な進歩をとげました。これからユーザーは、どのようなカメラを欲するのでしょうか。近年のカメラ技術の進歩を振り返りながら、次の時代のカメラについて語ってもらいます。

コーディネーター： 市川 泰憲(日本カメラ博物館(JCII))
甲田 謙一(日本大学芸術学部写真学科教授)

パネリスト(社名50音順)：

杉田 幸彦(オリンパス株式会社)／塩見 泰彦(キヤノン株式会社)／
中島 健(ソニー株式会社)／山本 哲也(株式会社ニコン)

(※パネリストは都合により変更になる場合があります。)

■ CP+技術アカデミー

協力：公益社団法人応用物理学会 フォトニクス分科会、一般社団法人日本オプトメカトロニクス協会、
一般社団法人日本写真学会

2/25(木) 13:00~15:45 2/26(金) 10:30~17:45 会議センター 311/312

各1,000円(税込)／事前登録制

2/25(木) 13:00~15:45

- ① 13:00~13:45 宮田 正人(オリンパス株式会社)／M.ZUIKO PROレンズの開発
- ② 14:00~14:45 栗山 祐司(カシオ計算機株式会社)／エクシムオートトランスファー機能の開発
- ③ 15:00~15:45 石橋 友彦(キヤノン株式会社)／「BRレンズ」を搭載したEF35mm F1.4L II USMの開発

2/26(金) 10:30~17:45

- ④ 10:30~11:15 藤田 健太、村上 仁(株式会社シグマ)／シグマArtシリーズについて
- ⑤ 11:30~12:15 町谷 康文(ソニー株式会社)／世界初、35mmフルサイズ裏面照射型CMOSセンサー搭載 α 7R IIの開発
- ⑥ 13:00~13:45 安藤 稔(株式会社タムロン)／単焦点レンズ 新SP 35mm & 45mm F/1.8 Di VC USD (F012 & F013)の開発
- ⑦ 14:00~14:45 原田 壮基(株式会社ニコン)／AF-S NIKKOR 24-70mm f/2.8 E ED VRの開発
- ⑧ 15:00~15:45 佐藤 貴義(パナソニック株式会社)／通信融合カメラの開発とそれを支える要素技術
- ⑨ 16:00~16:45 青木 貴嗣(富士フイルム株式会社)／XF56mmF1.2 R APD の開発について
- ⑩ 17:00~17:45 上原 広靖(リコーイメージング株式会社)／リアル・レプリケーション・システムの開発について

(※セミナー内容は都合により変更になる場合があります。)

マーケティングセミナー

■ インフォトレنز デジタルイメージングセミナー

2/26(金) 10:30~12:10 会議センター 301/302 無料/事前登録制 英⇒日 同時通訳

① カメラ市場を活気づける3つの処方箋

エド・リー

(インフォトレنز社 ワールドワイド・コンシューマ アンド プロフェッショナル イメージング・サービス グループ・ディレクター)

レンズ交換式カメラは、カメラ市場の中でも成長が見込める分野の1つです。その市場は、成長を続け、ワールドワイドの全カメラ市場において、2020年までに台数ベースで40%のシェアに、金額ベースでは70%のシェアに達するとインフォトレنزは予測しています。エンドユーザーとしては、プロの写真家およびハイアマチュアなどのホビイストが成長要因と見ています。これらのユーザーはカメラ、レンズ、アクセサリを積極的に購入するバイヤーであり、写真を撮るだけでなく、多様な方法で写真を楽しむユーザー層です。このセッションでは、インフォトレنزの最新の調査レポートに基づいてカメラ市場の今後の方向性を展望するとともに、カメラメーカーがカメラ市場に活気を呼び戻す3つの処方箋を解説します。

② 写真・動画の楽しみ方を革新するテクノロジー

アラン・ブロック

(インフォトレنز社 コネクテッド・イメージング・レンズ・サービス アソシエイト・ディレクター)

新しいテクノロジーは、写真や動画を楽しむ、シェアする方法に新たなビジネスチャンスをもたらします。4K動画の撮影機能は多くのスマホやプレミアムカメラ、ウェアラブルなビデオデバイスにも搭載されており、今後は8K動画やHDRも登場し、さらに高画質化が進みます。このセッションでは、これらの新しいテクノロジーとパーソナルなコンテンツの共有におけるトレンドについて分析します。

■ CIPA/GfKグローバルマーケットセミナー (協力:NPD Group)

2/26(金) 13:30~16:30 会議センター 301/302 無料/事前登録制 日⇔英 同時通訳

出荷統計を軸に調査活動に取り組むCIPA、世界各国の強力な調査拠点をネットワークするGfKのジョイントによる必聴のマーケティング・セミナーです。数を追う局面から顧客の特性に応じて画質・機能を訴求し丁寧な単価を追っていく局面へと転じたデジタルカメラ市場においては、各国市場特性の更なる把握が求められます。今、EUやロシアで、中国で、日本で、そしてグローバルで打つべき手立ては何か、調査情報の中にヒントを探ります。

【カメラ映像機器工業会(CIPA)】統計実績・出荷見通し

上原 正裕 (カメラ映像機器工業会調査統計作業部会 部会長)

【グローバル】付加価値市場としての成長ドライバー

ヘリバート・ティッペンハウアー (GfK Retail and Technology GmbH グローバルディレクター)

【EU・ロシア・NIS】経済格差を超える挑戦

ハルク・オズデミール (GfK Retail and Technology GmbH シニアコンサルタント)

【中国】Image the Life in Further - 中国イメージング市場

アルフレッド・ジョウ (GfK Retail and Technology China Co.,Ltd. マネージングディレクター)

【日本】成熟市場におけるプレミアム戦略の必要性

秋元 穂和 (GfK Marketing Services Japan Ltd. ビジネスマネージャー)

【ディスカッション】各講演登壇者によるディスカッション

プロ向け動画企画

■ プロ向け動画エリア (協力:株式会社ライトアップ)

一眼カメラを主とした最新動画ソリューションをトータルに紹介!

動画用の機材を扱う15社が集まり、今すぐ使える実用度の高い製品から、夢のある話題の製品までが揃う、現在進行形のトータルな動画ソリューションを紹介する場をご提供します。ぜひ実際に手にとって、最新技術を体験してください。

出展社一覧(全15社/50音順)

ACEBIL JAPAN株式会社、AJA VIDEO SYSTEMS、イーディテクノ、エヌ・イー・ピー株式会社、グラスバレー株式会社、株式会社ケンコープロフェッショナルイメージング、ティアック株式会社、Deity Japan、株式会社テクニカルファーム、株式会社ビデオサービス、ブラックマジックデザイン株式会社、平和精機工業株式会社、株式会社 よしみカメラ、株式会社ライトアップ、株式会社Y.D.S.

■ プロ向け動画セミナー (協力:コマーシャル・フォト)

無料/事前登録制

【導入編】一眼ムービーのためのカメラ・レンズ選び

鹿野宏 (フォトグラファー)

2/25(木) 13:00~14:30 会議センター303/304

各社の一眼レフ、ミラーレス一眼の動画機能を検証し、どんな場面でどんな機能が役に立つのか、また動画向きの交換レンズとはどんなものか、詳しくレポートします。スマートフォンでも4K動画が撮れるようになった現在、それを上回るクオリティの動画を撮るためにも、各カメラの特徴やレンズの個性を生かした撮影方法はプロとしてぜひ知っておきたい内容です。

【動向編】日本発、一眼ムービーで世界へ発信する

井野英隆 (augment5 Inc.プロデューサー)

2/25(木) 15:30~17:00 会議センター303/304

ネットを通じて海外との距離が縮まった現在、世界に通用する映像の作り方や、海外のフィルムマーケット事情など、一眼ムービーで世界へ発信するために知っておきたいことを紹介します。講師は、日本各地の美しい風景を撮影した作品で世界中に多くのファンを持ち、カンヌ国際映画祭にも出品経験のあるデジタルコンテンツ制作集団「augment5 Inc.(オーギュメントファイブ)」の井野英隆氏です。

【実践編】一歩先を行く撮影&カラーコレクション

千葉孝 (撮影監督/DIT)

2/26(金) 13:00~14:30 会議センター303/304

CMなどの撮影監督、DIT(デジタルイメージテクニシャン)の立場から、一眼カメラを使ってより迫力のある映像、より美しい映像を撮るにはどうすればいいのかを解説します。基本的な撮影テクニック、外部レコーダーなどの周辺機材、また映像の色やトーンを加工して完成度を高めるカラーコレクションの基礎知識についても紹介します。

【動向編】ドローン空撮時代の幕開け

小林宗 (スタジオアマナ airvision・特殊機材部)

2/26(金) 15:30~17:00 会議センター303/304

小型無人機ドローンによる空中撮影の現状と課題、可能性について詳しく解説します。映画やテレビCM、Webムービーなどでのドローン活用事例をはじめ、改正航空法の飛行規制の内容、安全・確実に撮影を行うためのノウハウ、空撮に適したドローンや搭載カメラの性能など、ドローン空撮にまつわる様々な話題を取り上げます。

■ 日本カメラ博物館 特別展示 メカニズムからみるカメラの歴史

2/25(木)～28(日) 展示ホール内

カメラの中はどうなってるの？カメラはどのように発展してきたの？興味はあるけど難しそう・・・そんな疑問に答えます。今回は、カメラ内部が見えるカットモデルや分解モデル、レンズ、シャッターなどを展示し、その仕組みについて歴史を追って解説します。また、いろいろな種類のカメラを型式別に展示し、カメラの多彩さや奥深さを伝えます。

■ JPS(公益社団法人日本写真家協会)

特別展示 知っていますか-「ヒロシマ・ナガサキの原子爆弾」

2/25(木)～28(日) みなとみらいギャラリー

1945年8月、広島・長崎に原子爆弾が投下され、一瞬に数十万人が被爆した。被爆直後を撮影した松重美人、山端庸介らの写真60点で構成し、「原爆とは何か」「原子雲の下でどんなことが起こっていたのか」をご覧ください。その他ギャラリーBでは、「小学生がとらえた—わたしが見つけた世界」展、ギャラリーCでは、「日本写真保存センターの活動」を紹介します。

セミナー 肖像権 こんなときどうする

2/27(土) 13:30～15:30 会議センター311/312 無料/事前登録制

松本徳彦(公益社団法人日本写真家協会副会長)

街で撮影していて気になるのが「肖像権」のことです。さまざまな状況のもとで、人物を写すとき、許諾をどのようにしてとるか。発表する、コンテストに応募する、WEBページに掲載するには、どんなことに気をつけなくてはならないかを、Q&Aで解説します。

■ Open Show CP+2016

2/27(土) 14:00～16:30 横浜美術館 レクチャーホール 無料/事前登録制

講師: 齋藤陽道(写真家)、片山真理(美術家)

モデレーター: 天野太郎(横浜市民ギャラリーあざみ野 主席学芸員)

2009年にサンフランシスコで始まったOpen Showは、誰でも参加しやすく高いレベルの作品に触れ、学ぶ機会を提供する写真のスライドショーイベント。現在世界17ヶ国30都市で開催され、ネットワークが広がっています。今回も、CP+2016にて特別開催いたします。

詳しくはOpen Showオフィシャルサイトへ！ www.facebook.com/openshowtokyo/

■ PHOTO LOUNGE 特別編

2/27(土) 17:00~19:00 会議センター6F・バイブリッジカフェテリア

司会: 水谷充、山田敦士

無料/事前登録制

日本に写真作品のスライドショーを定着させた実験的フォトLIVE、フォトグラファーズ・サミットの姉妹イベント、PHOTO LOUNGEの特別編がCP+で開催！ 渋谷で100名近くを動員する話題のイベントからレギュラーメンバーが飛び出し、作品をプレゼンテーションします。ポートフォリオやzineのコーナーでは最先端の写真表現に触れられます。

詳しくはPHOTO LOUNGEオフィシャルサイトへ！ <http://www.shutter-mag.com/lounge.html>

■ 日本写真館協会／日本写真文化協会 「ファミリー写真館」

2/25(木)~28(日) 展示ホール内 参加費 1,000円(税込) / 事前登録制(若干数当日受付)

最近、家族写真を撮りましたか？プロの写真家、そして写真館ならではのクオリティをCP+会場内特設スタジオで再現します。気取らず、着飾らず、普段着の家族の肖像、家族の笑顔を残してみませんか？

■ 『写真甲子園』(北海道「写真の町」ひがしかわ町)

2/25(木)~28(日) 展示ホール・2Fコンコース

全国の高校生カメラマンたちが北の大地・北海道で腕を競い合う「写真甲子園」。今年22回目を迎え、514校の応募の中から初戦審査会及びブロック別公開審査会を突破した代表18校54人がチームワークで作品づくりに挑みました。その中から選ばれた優秀賞作品展示をご覧ください。

■ エンジョイフォトステージ

2/27(土)~28(日) 会議センター303/304 11:00~16:00

アート写真から雑誌や広告などの商業写真まで、あらゆるジャンルから厳選された講師陣が、風景写真・ポートレート・天体写真など趣味に活かせるプロのテクニックを解説。撮影から加工、ストック、アークセサリーに至るまで、「撮る・見る・つながる」写真生活の幅を広げるチャンス！

講師陣(50音順):

阿部 秀之／飯島 裕／岩崎 拓哉／織作 峰子／川口 雅也／こばやしかをる／saorin／
澤村 徹／杉本 恭子／諏訪 光二／その江／染瀬 直人／ハービー・山口／林 和美／
広田 泉／村尾 昌美／山崎 友也／吉住 志穂

プレスの皆様へのおしらせ

プレスタイム

CP+2016では、初日2月25日(木)10:00~12:00(*プレスの皆様のみ9:50より入場)をプレスの皆様と特別なお客様だけに入場を限定し、ゆっくりと展示をご覧いただく“プレスタイム”と設定します(※一般・ビジネス来場者の入場は12:00~)。ぜひ新製品等の取材にお役立てください。

プレスルーム

ロッカースペースを新設します！

無線・有線LAN、バイリンガルスタッフ、クローク完備。出展社の製品情報や、イベントスケジュール、ワールドプレミア情報もこちらで集約して発信いたします。また、展示ホールにプレス向けロッカースペースをご用意いたしますので、ご活用ください。

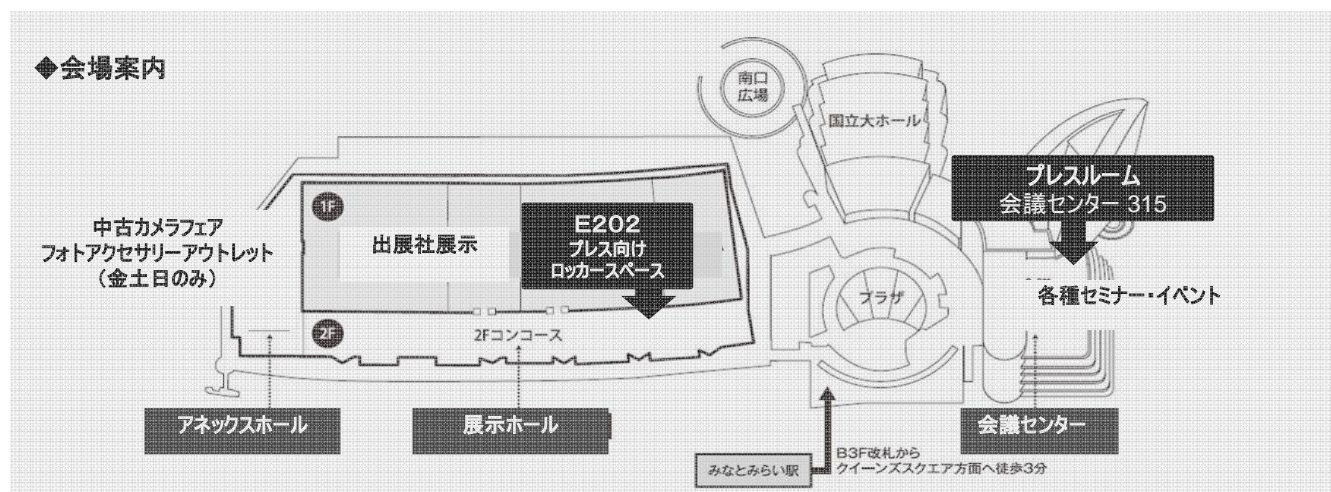
プレスルーム利用時間:

2月25日(木) 8:30~20:30
2月26日(金) 9:00~19:00
2月27日(土) 9:00~19:00
2月28日(日) 9:00~17:30

会場取材時間:

2月25日(木) **9:50~18:00** *
2月26日(金) 9:30~18:00
2月27日(土) 9:30~18:00
2月28日(日) 9:30~17:00

*プレスの皆様のみ10分繰り上げ入場とします。



CP+ オフィシャルウェブサイトをご活用ください！

www.cpplus.jp

◆ 最新情報を随時お知らせいたします。

CP+TOPページ→プレスの皆様へ→情報配信登録

◆ ロゴ・バナー・昨年の会場写真をご利用いただけます。

CP+TOPページ→プレスの皆様へ→プレス向けダウンロード

※すべてのイベント内容は、都合により変更させていただく場合がございます。
※変更があった場合は随時、オフィシャルウェブサイトにて告知させていただきます。

このプレスリリースに関するお問い合わせ先
CP+事務局 担当:高橋/吉川
〒130-0004 東京都墨田区本所1-32-5
TEL:03-6741-4015 FAX:03-6741-4016
Email: press@cpplus.jp

添付資料：出展社一覧(50音順、12月15日現在)

アガイ商事株式会社
株式会社浅沼商会
株式会社アスカネット
アワガミファクトリー
株式会社 市川ソフトウェアラボ
イメージビジョン株式会社
イルフォード／ハーネミュレ
(ジェットグラフ株式会社／中外写真薬品株式会社)
株式会社インタニヤ
インフォトランス株式会社
ウエスタンデジタルジャパン株式会社／
株式会社アイ・オー・データ機器
EIZO株式会社
株式会社エクスペクトラ／有限会社フィット
SDアソシエーション
株式会社エツミ
エプソン
LPL商事(株)
株式会社オーロラライトバンクジャパン
オリンパス株式会社
カールツァイス株式会社
カシオ計算機株式会社
キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社
京立電機株式会社
銀一
株式会社ケンコー・トキナー／スリック株式会社
株式会社ケンコープロフェッショナルイメージング
興和光学株式会社
株式会社 コシナ
コメット株式会社
株式会社サイトロンジャパン
サイバーグラフィックス株式会社
サンディスク株式会社
G-Technology
深圳市道通智能航空技术有限公司
深圳市永诺摄影器材股份有限公司
株式会社シグマ
株式会社システム計画研究所／ISP
株式会社ジャパンホビーツール
Shanghai Jieyong Technology Co.,Ltd.
上海传视摄影器材有限公司
シルイ (常盤写真用品株式会社)
金鋼數碼科技(香港)有限公司／ 咄咄樂有限公司
Ztylus Inc.
株式会社ソシオネクスト
ソニー株式会社／ソニーマーケティング株式会社
大連謙益科技有限公司／CTJ(株)
株式会社タムロン
勝勢科技(股)公司
珠海市川富光学技術株式会社
中一光学
壺坂電機株式会社
株式会社DNPフォトイメージングジャパン
DJI JAPAN株式会社
テイスト
庭田企業有限公司
デル株式会社／インテル株式会社
株式会社 東芝
東洋リビング株式会社
TOAST TECHNOLOGY
トリー・ハン株式会社
トミーテック
トムトム

トランセンドジャパン株式会社
株式会社 ニコン イメージング ジャパン
ニッシンジャパン株式会社
一般社団法人日本望遠鏡工業会
ハクバ写真産業株式会社
パナソニック株式会社
バンガード
株式会社バンビ
株式会社ビームコーポレーション
株式会社ビクセン
富士フイルム株式会社
プロフォト株式会社
ベルボン株式会社
Polaroid
マーキンス／トリンプル
マイクロンジャパン株式会社
株式会社マウスコンピューター
マルマン株式会社／キャンソン
マルミ光機株式会社
マンフロット株式会社
メモグラ
合同会社 モノゴ
リコーイメージング株式会社
株式会社ルミカ
株式会社ロモジャパン
株式会社ワコム

■プロ向け動画エリア

ACEBIL JAPAN株式会社
AJA VIDEO SYSTEMS
イーディテックノ
エヌ・イー・ビー株式会社
グラスバレー株式会社
株式会社ケンコープロフェッショナルイメージング
ティアック株式会社
Deity Japan
株式会社テクニカルファーム
株式会社ビデオサービス
ブラックマジックデザイン株式会社
平和精機工業株式会社
株式会社 よしみカメラ
株式会社ライトアップ
有限会社Y.D.S.

■メディアパートナー

株式会社インプレス

■主催関連ブース

神奈川県
国立天文台
写真甲子園 (北海道「写真の町」ひがしかわ町)

公益社団法人応用物理学会 フォトニクス分科会／
一般社団法人日本オプトメカトロニクス協会／
一般社団法人日本写真学会
日本カメラ博物館
一般社団法人日本写真映像用品工業会
日本写真館協会／日本写真文化協会(ファミリー写真館)
フォト・ヨコハマ 2016